

土木学会 論文集

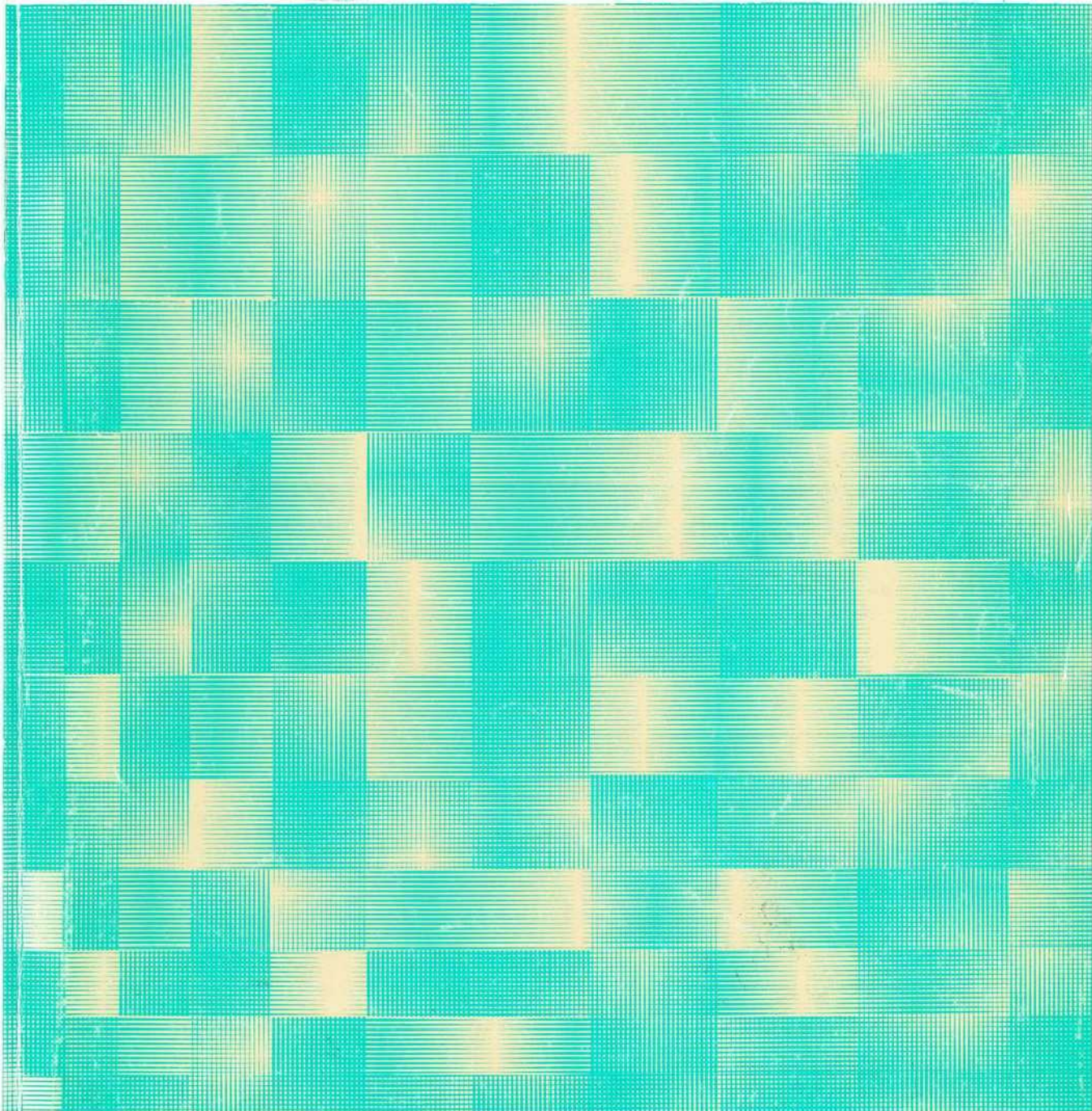
JAPAN
SOCIETY OF
CIVIL ENGINEERS



I

ISSN 0385-7806

PROCEEDINGS OF JSCE No.380/I-7 1987-4



Structural Engineering/Earthquake Engineering

土木学会

ついに出了!!

日本初のパソコンによる

大容量・非線形解析ソフト

Mr. SOIL

《機能》

- 弾性及び弾塑性解析が可能。
(モール・クーロンの破壊条件)
 - 掘削機能、盛土機能がある。
 - 地盤の不連続性(JOINT要素)も考慮。
 - 地盤と構造物との相互作用(JOINT要素)。
 - 会話型処理、バッチ処理どちらも可能。
 - 各種要素の準備
①三角形要素 ②四角形要素 ③棒要素 ④梁要素 ⑤JOINT要素。
 - 図化処理(プロッタ)等、豊富な機能をもった汎用ソフト。
 - 大モデルはそのままCRCネットワークでも(ホスト処理)可能。
- 販売価格：55万円(予約販売中) 機種：PC9800シリーズ。
IBM5550。

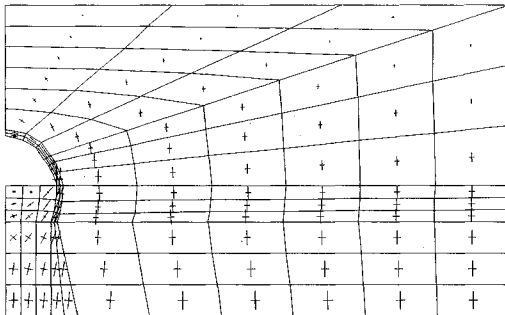


図1・弾塑性解析による応力図

Mr. SOIL

—完成記念キャンペーン—
キャンペーン実施中、無料で
本プログラムをお貸しいたし
ます。
お問合せは、下記担当者まで、
ご連絡下さい。

CRC

センチュリリサーチセンター 株式会社

大阪市東区北久太郎町4-68
(06-241-4121)担当：岩崎・古川

研究展望・委員会報告の取り扱い

論文集編集委員会第1小委員会

一般査読規定によらない依頼論文、推薦論文の性格は多種多様であると考えられるが、区分としては研究展望、委員会報告の2つとする。ただし、いずれにしても、これら特例論文掲載の主旨である。論文集を一般会員に親しみやすいものとし、広く購読者の関心を高めるような啓蒙的で読みやすい内容のものでなければならない。

1. 分類の定義と性格

1) 研究展望

- ① 内容は狭義の研究展望に限らず、現況報告（Review論文）、解説等も含めて広義に考える。
- ② 編集委員会依頼だけでなく、自薦を含め、外部からの推薦も認める。ただし、外部からの推薦のときも、概要を委員会に提出して頂き、委員会で検討のうえ、採択された場合、依頼の形をとる（主として内容、時期、分量等の調整のため）。
- ③ 執筆者は4名以内の個人著作論文とする。ただし、本文中で委員会等、執筆上の貢献団体、執筆者以外の個人に言及するのは支障ない。

2) 委員会報告

- ① 土木学会に設置された委員会（小委員会、分科会等を含む）の活動成果の紹介を内容とする。最終報告か中間報告かは特に問わない。委員会の目的が刊行物の発行にある場合、その刊行物のPRを含んだ紹介記事でもよい。
- ② 編集委員会による依頼、当該委員会の要請のいずれかであってもよい。要請の場合は、あらかじめ概要を編集委員会に提出して頂き、採択された場合に、依頼の形をとる（研究展望と同様の理由）。
- ③ 執筆者は当該委員会名とする。さらに本文中で委員長ほか委員会構成の概要を必ず記載し、必要に応じ、執筆分担も掲載する。

2. 掲載論文数とページ数の配分（論文集年2回刊行）

- ① 1号あたりの掲載論文数は最大4編、ページ数は最大25ページを目安とする。
- ② 1論文のページ数は6±2ページを目安とする。

3. 査読と掲載の手続、および討議

- ① 執筆依頼（外部推薦または要請の場合は、採択決定後の依頼）原則として掲載予定月より8か月以前に依頼

↓
便宜的に査読台帳記載。 査読は編集委員1名，幹事1名

↓
論文提出 → 査読 → 修正依頼 → 最終原稿提出
(5か月前) (2か月前)

↓
掲載

- ② 査読は一般査読規定によるものではない。特例論文の主旨，形式の原則に沿うものであるかどうかをチェックし，必要とあれば内容上の修正希望を依頼するためのものである。
- ③ 討議は，一般投稿論文と同様の扱いとし，認める。

4. 使用言語

- ① 和文または英文とし，筆者の意向を勘案して，執筆依頼時に指定する。英文の場合，Structural Engineering/Earthquake Engineering に同時掲載される。

土木学会論文集編集委員会

委員 長 松本 順一郎
 副委員 長 山田 善一
 幹事 長 魚本 健人

第1小委員会

委員 長 伊藤 学
 委員 員 亀田 弘
 〃 〃 松田 真
 〃 〃 宇佐美 勉
 〃 〃 青柳 史
 〃 〃 西岡 隆
 〃 〃 吉田 裕
 幹事 岩熊 哲夫
 編集調整会議幹事 川上 英二

第2小委員会

委員 長 高 棹 琢 馬
 委員 員 谷本 勝 利
 〃 〃 池田 駿 介
 〃 〃 藤田 陸 博
 〃 〃 松尾 友 矩
 〃 〃 高橋 和 保
 幹事 灘岡 和 夫
 編集調整会議幹事 磯部 雅彦

第3小委員会

委員 長 大 草 重 康
 委員 員 梅原 靖 文
 〃 〃 岩崎 敏 男
 〃 〃 半沢 秀 郎
 〃 〃 足立 紀 尚
 〃 〃 河野 伊 一郎
 幹事 山田 恭 央
 編集調整会議幹事 日下部 治

第4小委員会

委員 長 河 上 省 吾
 委員 員 片 倉 正 彦
 〃 〃 松 井 寛
 〃 〃 青 山 吉 隆
 〃 〃 太 田 勝 敏
 〃 〃 渡 辺 貴 介
 幹事 稲 村 肇
 編集調整会議幹事 内 山 久 雄

第5小委員会

委員 長 岩 崎 訓 明
 委員 員 町 田 篤 彦
 〃 〃 達 下 文 一
 〃 〃 藤 井 昭 博
 〃 〃 森 吉 幸 和
 幹事 辻 本 健 人
 編集調整会議幹事 魚 本

第6小委員会

委員 長 伊 佐 秀
 委員 員 島 田 伸 行
 〃 〃 吉 野 光 雄
 〃 〃 上 野 芳 久
 〃 〃 島 田 眞 昭
 〃 〃 姫 路 原 夫
 〃 〃 喜 多 勝 節
 幹事 喜 多 健 介
 編集調整会議幹事 喜 多 健 介

討 議 に つ い て

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和62年10月20日とする。

All communications and discussion (open until October 20, 1987) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

——論文集編集委員会からのお知らせ——
(1987. 4. 1)

土木学会論文集投稿の手引(1986年1月24日)の一部変更について

旧	新
<p>3.2 原稿の具備すべき条件</p> <p>投稿原稿が具備すべき条件として考えられるのは、</p> <p>1) 正確であること</p> <p>2) 客観的に記述されていること</p> <p>3) 内容、記述について十分な推敲がなされていること</p> <p>4) 未発表であること。</p> <p>の4点があげられます。</p>	<p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>5) 他学協会誌、等へ二重に投稿していないこと</p> <p>の5点があげられます</p>
<p>4) に関して、既に発表した内容を含む原稿でも、次に掲げるいずれかの項目に該当する場合は投稿を受付けます。</p> <p>1) 新たな知見が加味され再構成された論文。</p> <p>2) 個々の内容について既に発表されているが、統合することにより価値のある論文となっているもの。</p> <p>3) フルペーパーによる審査を受けていない論文。</p> <p>4) 限られた読者にしか配布されない刊行物に発表された論文。</p>	<p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>3) 項、全文削除</p> <p>3) 限られた読者にしか配布されない刊行物に発表された論文。</p>

土木学会論文集 No. 380 / I -7

定価 2 500 円

昭和 62 年 4 月 15 日 印刷

昭和 62 年 4 月 20 日 発行

発行者 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 八木 純一

発行所 社団法人 土木学会

郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 振替東京 6-16828 番
電話 (03) 355-3441